

## Ⅱ きらきらと輝く人が育つまち

## 教育相談事業

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

### ○教育相談事業

1,831万円

生徒の心の悩みや不安などをじっくり聞き、その問題解決にあたるため、南風原町教育相談支援センター(心の教室)を設置しています。

児童生徒が悩み等を気軽に話せ、ストレスを和らげることができるよう第三者的な存在として教育相談員と心の教室相談員(5名)を身近に配置することで、学校や関係機関と連携をとりながら、不登校や児童虐待など問題解決のために速やかに対応します。

また、近年、相談内容が複雑化していることから、特別支援教育相談員を配置し、俯瞰的な視点で教育相談員の援助を行います。

さらに中学校には、不登校の生徒の支援として適応指導教室、自立支援教室を設置し学習支援員を配置します。

|      |                |         |
|------|----------------|---------|
| 主な経費 | 教育相談員・学習支援員報酬等 | 1,271万円 |
|      | 心の教室相談員謝礼金     | 528万円   |
|      | 消耗品費・電話代・保険料   | 32万円    |

ご相談はこちらまで 南風原町教育相談支援センター

○青少年教育相談員 : 城間 明

○心の教室相談員 : 中村 正枝・新垣 鈴乃  
伊井 智子・矢野 朋子 ※1名は未定

○特別支援教育相談員 : 嘉数 栄子

場 所 南風原町総合保健福祉防災センター(ちむぐる館)内

電 話 番 号 098-889-0501

※ お気軽にご相談ください。

# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

## 子ども平和学習交流事業

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:島袋 健)

### ○子ども平和交流事業

112万円

町内の小学校6年生を対象に、戦争や平和、差別や人権についての学習を深めるための事業です。主に、本研修の旅費や宿泊費などの経費に使われます。数回の事前学習の後、広島原爆、アジアの戦争、世界で起きている戦争、ホロコーストについて、そしてハンセン病についての学習のため広島、大阪、京都に出かける予定です。

#### 1. 事前研修

##### ①学習会

南風原の戦争の実態、沖縄戦やアジアの戦争、学童疎開について、ビデオや文献、体験者のお話を聞いたりして勉強します。また広島原爆、ハンセン病などについて数回にわたって学習します。

##### ②巡検

南部戦跡めぐりや基地めぐりに出かけます。

##### ③宿泊学習

名護市の屋我地にある「愛楽園」を訪ね、交流会館の中の資料館見学や元患者からハンセン病の話、差別についての話など、体験を通して学習します。



▲米軍上陸地点記念碑めぐり



▲愛楽園の納骨堂の案内を受ける

##### ④報告会・激励会

学習したことはグループで協力してまとめ、お父さん、お母さん、役場の皆さん、先生方に報告発表します。



# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

## 2. 本研修

3泊4日の予定で広島、大阪、京都を訪ねます。県内外の施設や活動している人、戦争の体験者、講師の方にお会いして現地の実態を勉強したり意見を交換して、平和や人権の学習を深めます。

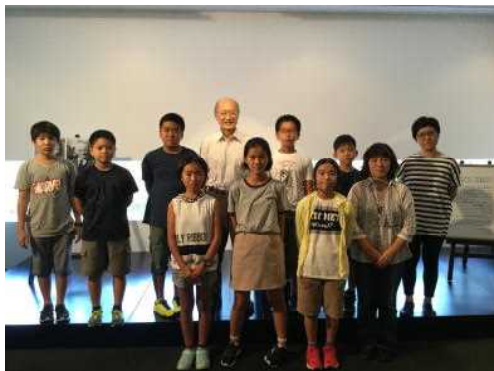
### ●令和元年度の本研修の様子



▲立命館大学国際平和ミュージアムにて



▲ピースおおさか見学



▲ホロコースト記念館館長大塚信さんと



▲広島原爆ドーム

### 経費内訳

|                    |      |
|--------------------|------|
| 引率旅費(職員、引率教諭特別旅費等) | 18万円 |
| 平和学習ガイド、講師謝礼金等     | 10万円 |
| 施設使用料              | 1万円  |
| 補助金(生徒8人)          | 83万円 |

# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

## 国際交流事業(育英会)

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:島袋 健)

### ○国際交流事業(育英会)

467万円

町内の青少年リーダーを海外に派遣し、教育・文化・歴史・産業などの視察学習、現地のミドルスクール(中学校)体験入学やホームステイを行っています。この事業では、国際的視野を広めるとともに、ホームステイ先の家族らとの友情を深め、国際時代に柔軟に対応できる青少年を育てることを目的としています。この事業は平成5年度からスタートし、訪問先はアメリカ合衆国ハワイ州と町の友好都市であるカナダ国レスブリッジ市で交互に行っています。今年はアメリカ合衆国ハワイ州へ中学生(10名)を派遣します。

#### 主な経費

国際交流事業に参加する生徒への育英会補助金 467万円

#### 1. 事前研修

訪問国の教育・文化・歴史等について勉強します。また、南風原町についての調べ学習、英会話レッスン、および現地で発表する踊りなどを事前研修にて練習します。



英会話レッスン→

#### 2. 本研修

訪問先では、教育・文化・産業施設等の現地視察及びミドルスクール(公立中学校)への体験学習を通して同世代の子と交流をしています。またホームステイも実施しています。



お世話になったホストファミリー



ミドルスクールでの体験入学後ホストスチューデントと共に

#### 3. 事後研修

本研修で学んだ事を日本語と英語で報告書を作成します。また、育英会長・保護者・学校関係者・事前研修講師等に向けて報告会も開催しています。

本研修報告会の様子→



# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

## 放課後子ども教室推進事業

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:島袋 健)

### ○放課後子ども教室推進事業

264万円

各小学校区において、放課後や週末等に小学校の余裕教室等を活用して行われます。地域の方々が子どもたちといっしょに勉強やスポーツ・文化活動を行うことで、地域住民の交流の場を創り、子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。

主な経費

謝礼金(コーディネーター、協働活動サポーター、講師) 252万円

消耗品費 4万円 保険料等 8万円



夏休み親子工作教室



子ども教室での「昔あそび」

## 地域学校協働活動推進事業

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:島袋 健)

### ○地域学校協働活動推進事業

638万円

地域の学校支援ボランティアが、町内各小・中学校の依頼に応じた学校支援活動を展開することで、子どもたちは多様な体験ができ、学校教育の充実を図ります。また、地域住民が自らの経験や知識を子どもたちの教育に生かし、地域のきずなづくりにつなげることで、地域の教育力向上を図ります。

主な経費

謝礼金(実行委員、コーディネーター(5名)) 587万円

ボランティア懇親会費 18万円 印刷製本費 11万円 役務費等 22万円



学習支援の様子



クラブ活動支援の様子

# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

## はえばる大学運営事業

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:島袋 健)

### ○はえばる大学運営事業

10万円

南風原町のまちづくりに資する人材育成を図るために大学を設置いたしました。

2期生の学生達は学長講話や、南風原町の歴史、産業、福祉等10回の講座やグループワークを行いました。そして、最終日の令和2年3月12日に修了証書が授与されました。

令和2年度も南風原町に関するカリキュラムを計画し3期生を募集します。



学生のワークショップ



修了式全体写真

## 陸軍病院壕公開活用事業

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:島袋 健)

### ○陸軍病院壕公開活用事業

308万円

陸軍病院壕公開活用事業は、見学者の受付や日々の安全確認を行う管理人の報酬費や壕内の安全管理のための委託料など、壕の公開活用のための予算です。

南風原町は、平成2年(1990年)に太平洋戦争(沖縄戦)時の“負の遺産”である「沖縄陸軍病院南風原壕」を全国に先駆けて町の文化財(史跡)に指定しました。戦争体験者が減少していく中、沖縄戦の記憶を後世に伝える「生き証人」としての壕を保存していくことがその目的でした。

整備の後、平成19年(2007年)からは、壕群の内、20号壕を一般公開しています。

負傷した兵士達の手当をするための病院として使用された壕内には、ツルハシなどの掘削痕や焼け焦げた支柱などが残り、沖縄戦の様子が今でも記憶されています。

ガイドの案内で壕内に入り、そこで起きた出来事を聞き、暗闇や空気を感じる体験を通して、戦争の悲惨さや愚かさ、平和を創造することの大切さを学ぶことができる場として活用しています。

また戦後75年を迎え、壕は徐々に風化が進行しています。今後はより一層大切に保存・活用を進める必要があります。

# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

## 主な経費

1. 報酬 191万円  
・見学者の受付や壕内に設置されている観測機器の計測、ガイドのスケジュール調整等を行う管理人の報酬などです。
2. 職員手当等および旅費 32万円  
・管理人の期末手当および交通費などです。
3. 需用費 34万円  
・壕の設備の修繕料や電気料金などです。
4. 役務費 1万円  
・見学者の安全を確保するための保険料です。
5. 委託料 47万円  
・壕内の臭気再現および見学者の安全を管理するための設備管理委託料です。
6. 使用料 3万円  
・壕の安全を管理するためのデータ作成に必要な機材の使用料です。



徐々に風化する壕(当時の焼けた面が剥がれる)



20号壕 見学者数の推移

# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

## 公民館活動の充実事業

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:島袋 健)

### ○公民館活動の充実事業

3,327万円

生涯学習の活動拠点として公民館学級講座、サークル活動及び各種社会教育団体等の充実発展を目指して事業を展開いたします。

又、設備の機能強化された黄金ホールをフルに活用し、保育園・幼稚園から高校・大学等の教育活動の発表会や音楽・芸能・舞踊などの発表の場として、利用者・来場者の期待に応える施設作りを目指して参ります。

#### 主な経費

|                   |         |
|-------------------|---------|
| 公民館長報酬            | 131万円   |
| 管理員報酬             | 217万円   |
| 管理事務員報酬           | 170万円   |
| 清掃員報酬             | 164万円   |
| 光熱水費              | 922万円   |
| 冷房管理委託料など施設の管理委託費 | 1,416万円 |
| 他、コピー機使用料など事務経費   | 307万円   |



公民館連絡協議会総会(代議員会)



公民館まつり  
(自治公民館館長)

## 公民館講座事業

(担当:教育部 生涯学習文化課 課長:島袋 健)

### ○公民館講座事業

100万円

令和元年度は24の講座を開催し483人が受講しました。児童・生徒のための夏休み親子講座など、子どもからご年配の方まで幅広い年齢層に対応できるよう趣向をこらして開催しております。

また、各字公民館でも出前講座を9自治会で開催し、107人が参加しております。毎年2月には「公民館まつり」を行い、自治会講座の皆さんや、公民館サークル会員が日頃の練習の成果を発表しています。

町広報紙やホームページ、公民館学級講座のパンフレットをご覧になり、お気軽にお申し込みください。

# 地域に学び、地域を愛する人を育む、ふるさと教育

主な経費

公民館講座講師謝礼金

100万円

♪令和元年度の公民館講座紹介♪

夏休み親子陶芸、免疫力が上がる健康法、親子クッキング  
ヴォイストレーニング、手作り折紙雛人形、歌碑めぐり  
いけ花、整理収納、家庭料理、袋物工芸、おうちパン  
三線、カラー、男の料理、ズンバ&ピラティス、ミニ盆栽  
パステルアート、位牌と行事、結書、終活 他4講座



写真講座



沖縄の位牌と盆の行事講座



おうちパン講座



さんしんを楽しむ講座

## 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

### 学校給食用材料に係る経費

(担当:教育部 教育総務課 課長:比嘉 純子)

#### ○学校給食用材料に係る経費

2億7,791万円

学校給食費は、幼稚園児月額3,200円(一人当たり、一食220円)、小学生月額4,500円(一人当たり、一食247円)、中学生月額5,000円(一人当たり、一食275円)の11カ月分の給食費を徴収しています。また、一食あたりの平均栄養基準は、幼児490kcal、小学校650kcal、中学校830kcalになっています。

学校給食共同調理場では、総合的な安全管理を基本に、常に児童、生徒等に安全・安心でおいしい給食を提供するためにできる限り県内産、町内産を利用するように努めています。

平成25年度から開始した幼稚園給食(5歳児)に続いて平成28年度には、4歳児の給食も開始し令和元年5月1日時点の食数は5,472食となっています。



▲給食センターの見学



▲人気のあるカレー献立

### 調理場施設維持管理事業

(担当:教育部 教育総務課 課長:比嘉 純子)

#### ○調理場施設維持管理事業

1,805万円

園児・児童・生徒のみなさんからの給食費は、すべて給食の材料費として使っています。給食を作るためには調理場の電気代、水道料金、ガス代、食器を洗う洗剤等消耗品代などの経費が必要になります。また、平成27年度からは、調理員等の通常検便に加えてノロウイルスの検査も実施して食中毒等の重大事故を発生しないようさらに衛生安全も徹底しています。

|      |           |       |
|------|-----------|-------|
| 主な経費 | ボイラー用等燃料代 | 371万円 |
|      | 光熱水費      | 924万円 |
|      | その他(消耗品等) | 510万円 |

学校給食共同調理場にはこんな機械があります

ガススチームコンベクションオーブン:スチームやオーブン等で調理する機械です。

食缶類洗浄機 : 2本のレーンで、高さの異なる食缶などを超高压水で洗浄します。

食器類洗浄機 : 食器の洗浄、整理まで自動処理します。スプーンなども自動洗浄します。

消毒保管庫 : 食器や食缶の消毒効果を高めるため、蒸気で温熱殺菌した後保管します。

高速ミキサー : 液体の攪拌・混合作業、タレ作りなどの機械。

自動フライヤー : 揚げ物によって、油温を調節し、美味しく調理することができます。



▲消毒保管庫



▲フライヤーでの作業

## 就学奨励事業

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

### ○就学奨励事業

1億368万円

経済的な理由等で児童生徒の学校生活が円滑に行われないうといったことがないよう、対象となる小・中学校の児童生徒の保護者に学用品費、修学旅行費、学校給食費などの援助を行っております。この事業には国、県からの補助金も含まれており、内訳は下記に示したとおりとなっております。

主な経費

|                |         |
|----------------|---------|
| 要保護準要保護児童生徒援助費 | 1億109万円 |
| 特別支援教育就学奨励費    | 259万円   |

【内訳】

|       |         |
|-------|---------|
| 国庫補助金 | 144万円   |
| 県負担金  | 1,292万円 |
| 町負担分  | 8,932万円 |



## 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

### 幼稚園就園援助事業

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

#### ○幼稚園就園援助事業

135万円

町立幼稚園に通う園児の幼稚園生活が円滑に行われるように、生活保護世帯及びその援助の対象となる園児の保護者に対し、預かり保育にかかるおやつ代を、町が援助を行います。

主な経費

幼稚園就園援助費 135万円



### 幼稚園にかかる経費(各幼稚園経費除く)

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

#### ○幼稚園全体にかかる経費

9,920万円

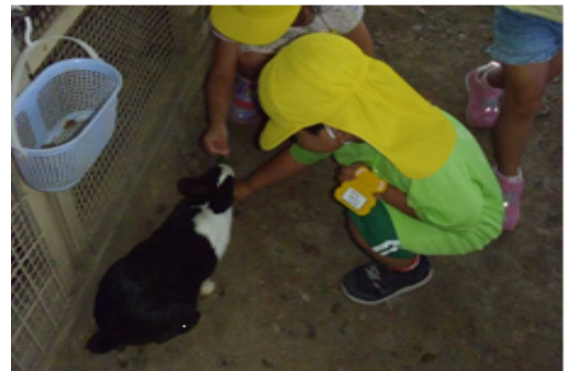
南風原町では、平成28年度より各幼稚園で4歳児保育を開始し、2年保育を実施しています。

主な経費

園長・学校医等に係る費用 1,049万円

幼稚園修繕費用 42万円

幼稚園会計年度任用職員報酬 2,381万円



#### ○預かり保育事業

幼稚園の教育時間終了後、共働き等の保護者ニーズに応え預かり保育を実施しています。予算としては、会計年度任用職員の報酬を経費を計上しています。

土曜預かりも2園合同で行っています。

また、預かり保育は、平成27年度より子ども・子育て交付金の「一時預かり事業」となり、国から一部補助金を受けています。

主な経費

預かり保育会計年度任用職員報酬 6,448万円

## 各幼稚園にかかる経費

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

### ○各幼稚園にかかる経費

1,423万円

町内4幼稚園の園児たちが安心して幼稚園での生活が送れるように施設の維持や教材費にかかる経費となっています。建物の修繕費、電気・水道などの光熱費、行事で使う事務用品代を支出しています。

主な経費

|        |       |
|--------|-------|
| 南風原幼稚園 | 381万円 |
| 津嘉山幼稚園 | 446万円 |
| 北丘幼稚園  | 328万円 |
| 翔南幼稚園  | 268万円 |



## 英会話教育の充実

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

### ○英会話教育の充実

2,056万円

#### 1. 中学校での英会話教育

国際理解教育の一環として、英語を母国語とする外国人とのコミュニケーションにより英語に親しみ、また国際社会で使える英語を習得させることを目的として、南風原中学校、南星中学校にそれぞれ1名の外国人英語指導助手(ALT)を配置します。

主な経費

|                    |       |
|--------------------|-------|
| 外国人英語指導助手報酬(諸手当含む) | 788万円 |
| 傷害保険料              | 3万円   |

#### 2. 小学校での英会話教育

町では、いろいろな国を学ぶための学習のひとつとして、英語教育活動を行い、児童が英語に触れたり、外国の文化に慣れ親しむ体験活動を行っています。そのために、町内にある4つの小学校に、英語に関する専門的な知識をもった6名の日本人の英語指導助手(JTE)を配置します。

主な経費

|                    |         |
|--------------------|---------|
| 小学校英語指導助手報酬(諸手当含む) | 1,265万円 |
|--------------------|---------|



# 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

## 学校教育事業

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

### ○学校教育事業

2,478万円

学校教育課が管理する小・中学校や幼稚園に関する経費で、町内全ての学校で共通して必要な事に使います。例えば、小中学校のパソコンのサーバーの保守管理委託料やPCソフトライセンス使用料、廃棄物収集運搬委託料などの費用を支出しています。

#### 主な経費

|              |       |               |       |
|--------------|-------|---------------|-------|
| 学校情報推進員報酬    | 236万円 | 廃棄物収集運搬委託料    | 385万円 |
| パソコン保守管理委託料  | 162万円 | サーバー使用料       | 114万円 |
| ライセンス使用料     | 236万円 | 町学力向上推進委員会補助金 | 120万円 |
| 島尻地区教育研究所負担金 | 432万円 | その他の経費        | 793万円 |



令和元年度(平成31年度)教育長表彰を受けた児童生徒

## 特別支援教育支援員(ヘルパー)配置事業

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

### ○特別支援教育支援員配置事業

7,833万円

発達障害や肢体不自由などの障がいを持った幼児・児童・生徒が町内の幼稚園や小学校、中学校に通園・通学しています。障がい児一人ひとりの教育を保障し、自立して生きていくことのできる力を育むことが重要となっています。

その幼児・児童・生徒達が安心・安全に学校生活を送ることができるよう支援するため、特別支援教育支援員を配置し、始業時から下校時までの間を支援しています。令和2年度は、幼稚園に19名、小学校に24名、中学校に5名を派遣します。

|            |     |         |
|------------|-----|---------|
| 主な経費 (内 訳) | 幼稚園 | 2,513万円 |
|            | 小学校 | 4,447万円 |
|            | 中学校 | 873万円   |



## スクール・サポート・スタッフ配置事業(学校管理費)

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

### ○スクール・サポート・スタッフ配置事業

1,113万円

主として教員の業務支援を図り、教員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的に、市町村がスクール・サポート・スタッフを配置します。

主に授業で使用する教材等の印刷や物品の準備、教材資料の整理・保管、宿題等の提出物の受取・確認、小テスト等の採点、学校行事・式典等の準備、統計情報のデータ入力、その他、教員の事務作業負担軽減となる取組となっています。

配置校は南風原小学校、津嘉山小学校、北丘小学校、翔南小学校、  
南風原中学校、南星中学校

## 学校ICT推進事業

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

### ○学校ICT推進事業

1,281万円

学校においてパソコン等のICT機器を充実させ、児童・生徒が機器に慣れる機会をつくるなど、魅力ある授業を行うことで、学力向上を図ります。

令和2年度は、ICT支援員1名の委託を行います。  
また、小学校の教科書改訂に伴い、令和2年度から  
使用するデジタル教科書の購入を行います。

主な経費

ICT支援員委託料 677万円

○小学校費 451万円

○中学校費 226万円

備品購入費(デジタル教科書) 604万円

○小学校費 604万円



## 個性を伸ばし、豊かな心と健やかな体を地域と育む、学校教育

### 小学校(学校管理費・教育振興費)

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

#### ○小学校(学校管理費・教育振興費)

8,702万円

町内にある4小学校(南風原小学校、津嘉山小学校、北丘小学校、翔南小学校)の子どもたちが安心して学校生活を送れるように、学校設備の維持・管理及び各教科やクラブ活動などにかかる経費となっています。学校管理費として、学校で使う電気・ガス・水道の光熱水費の費用、学校施設の修理などの費用に使われます。また教育振興費として、各教科で使う教材や備品などの費用として使われ、例えば理科で使うデジタルスケール、図工で使う糸のこ盤、体育で使うロイター板、走り高跳びの用具などを購入する経費となっています。

南風原小学校にかかる経費 2,203万円

北丘小学校にかかる経費 2,379万円

津嘉山小学校にかかる経費 2,246万円

翔南小学校にかかる経費 1,874万円



令和元年度(平成31年度)に購入した解剖顕微鏡(理科)と体操マット(体育)

### 中学校(学校管理費・教育振興費)

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

#### ○中学校(学校管理費・教育振興費)

4,977万円

町内にある2中学校(南風原中学校、南星中学校)の生徒たちが安心して学校生活を送れるように、学校設備の維持・管理及び各教科の教材などにかかる経費となっています。

学校管理費として、学校で使う電気・ガス・水道の光熱水費の費用、学校施設の修理などの費用に使われます。また教育振興費として、各教科で使う教材や備品などの費用として使われ、例えば音楽で使うメロノームや電子ピアノ、図工で使うテーブル丸のこ、体育で使うハードル、走り高跳びの用具などを購入する経費となっています。また、各種大会で優秀な成績を納めた生徒たちを県大会や九州大会などへ派遣する費用も支出しています。

南風原中学校にかかる経費 2,656万円

南星中学校にかかる経費 2,321万円



令和元年度(平成31年度)に購入したミシン(家庭科)と太陽望遠鏡(理科)

## 学習支援員等配置事業

(担当:教育部 学校教育課 課長:宮良 泰子)

### ○学習支援員等配置事業

2,716万円

町立小・中学校に学習支援員を2名ずつ(計12名)配置し、学習支援を必要とする児童生徒に対して、同支援員を活用し基礎学力を定着させます。また、教育相談事業においても、町立中学校(2校)へ適応教室指導員、自立支援教室指導員(各1名ずつ)の学習支援員を配置しています。

主な経費

小学校 1,813万円  
中学校 903万円



## 幼稚園体育活動充実事業

(担当:教育部 教育総務課 課長:比嘉 純子)

### ○幼稚園体育活動充実事業

174万円

各町立幼稚園の5歳児、4歳児を対象とし、幼少期に運動する楽しさを実感してもらうことによりその後の運動習慣を身につけるため、専門的な知識を持つ講師による体育指導を実施します。

主な経費 幼稚園体育活動充実支援委託料 174万円



バルーン遊び



跳び箱指導



鉄棒指導

南風原町立4幼稚園 逆上がり・跳び箱3段習得者数一覧表(令和元年度実績)

|           |      |            |       |
|-----------|------|------------|-------|
| 幼稚園5歳児数   | 365人 |            |       |
| 逆上がり習得者数  | 142人 | 逆上がり習得割合   | 38.9% |
| 跳び箱3段習得者数 | 275人 | 跳び箱3段習得割合  | 75.3% |
| 体育遊びが好きな人 | 351人 | 体育遊びが好きな割合 | 96.2% |